

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公開番号】特開 2005-220001 (P2005-220001A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-032
 【出願番号】特願 2004-32632 (P2004-32632)
 【国際特許分類】

C 0 1 B 13/14 (2006.01)
C 0 1 G 31/00 (2006.01)
C 0 1 G 39/00 (2006.01)
C 0 1 G 41/00 (2006.01)
G 0 2 F 1/15 (2006.01)

【F I】

C 0 1 B 13/14 Z
 C 0 1 G 31/00
 C 0 1 G 39/00 Z
 C 0 1 G 41/00 Z
 G 0 2 F 1/15

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 2 月 7 日 (2007.2.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

他方、最近に至り、層状化合物 $H_xTi_{2-x/4}O_4 \cdot nH_2O$ をアミン又はアンモニウム化合物の水溶液と混合し、攪拌させることにより、層間で剥離させ酸化チタン (TiO_2) の微小結晶薄片が分散したゾル溶液を調製する方法 (特許文献 7 参照)、同様にして $H_4Mn_{14}O_{27} \cdot 9H_2O$ から酸化マンガン (MnO_2) のナノシート分散ゾルを調製する方法 (特許文献 8 参照)、 $-Zr(HOPO_3)_2 \cdot H_2O$ から酸化ジルコニウム (ZrO_2) ナノシート分散ゾルを調製する方法 (非特許文献 1 参照)、 $VOPO_4 \cdot H_2O$ から V - P 酸化物のナノシート分散ゾルを調製する方法 (非特許文献 2 参照)、 $HTiNbO_5$ から酸化チタン - ニオブのナノシート分散液を調製する方法 (非特許文献 3 参照)、 $HCa_2Nb_3O_{10}$ から酸化カルシウム - ニオブのナノシート分散液を調製する方法 (非特許文献 4 参照) などが提案され、かつこのようにして得たナノシート分散液を基板にコーティングして、金属酸化物薄膜を形成することも知られている (特許文献 9 参照)。